

別紙

I 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した費用	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	土佐山地区 基幹作業道イノウチ線 舗装工事(27)	高知市	2,840,400	2,840,400	総事業費 2,840,400
2	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	鏡地区 林道岩ヤガサコ線 舗装工事(27)	高知市	2,637,360	2,637,360	総事業費 2,637,360
合計				5,477,760	5,477,760	5,477,760

(注) 事業が2つ以上の場合には必要に応じ欄を設けてください。

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	土佐山地区 基幹作業道イノウチ線舗装工事(27)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		高知市		
交付金事業実施場所	高知市土佐山中切			
交付金事業の概要	未舗装道路で通行性が悪く森林管理、サコ合地区飲料水供給施設の維持管理に支障をきたしているため舗装工事を実施する。 (事業期間：平成21年度～平成45年度) 総延長 L=6,500.0m (本年度施工 アスファルト舗装 L=92.7m W=3.0～3.75m A=309.1m ² t=4cm L型側溝 L=87.5m 横断側溝L=4.4m 擁壁 L=3.15m V=2.4m ³)			
総事業費	2,840,400	交付金充当額	2,840,400	
交付金事業の成果及び評価	本年度は92.7mを整備した。平成21年度から実施した舗装工事は、起点からL=1,053m(うち交付金事業による施工分918.7m、自力施工分108.8m、不施工区間25.5m)が舗装済みとなった。この区間は降雨時には度々路面が洗掘され補修を余儀なくされていたが、舗装や側溝の整備によって排水効果があがった。また、路面状態が改良されたことにより、通行の安全性も高まり利便性が向上した。本事業を広報し住民に周知することにより、発電施設及び発電事業への理解が深められた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	道路整備	指名競争入札	有限会社耕生	2,840,400(総事業費)
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
高知市土佐山中切地区における森林管理及び路線終点部に設置されている中切サコ合地区飲料水取水口施設の維持管理に支障をきたしていることから、本路線の整備を求められており、来年度以降も本事業を活用し、平成27年度舗装終点から舗装を延伸し、平成45年度までの完成を目指す。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特になし			

番号	措置名	交付金事業名		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鏡地区 林道岩ヤガサコ線舗装工事(27)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		高知市		
交付金事業実施場所	高知市鏡敷ノ山			
交付金事業の概要	未舗装道路で通行性が悪く森林管理、高冷地野菜栽培ハウスからの農産物の出荷に支障をきたしているため舗装工事を実施する。(事業期間：平成17年度～平成33年度) 総延長 L=2,990.0m (本年度施工 アスファルト舗装 L=95.4m W=3.0m A=317.2m ² t=4cm L型側溝 L=85.6m 擁壁 L=1.5m V=1.8m ³ 区画線 L=93.7m)			
総事業費	2,637,360	交付金充当額	2,637,360	
交付金事業の成果及び評価	本年度は95.4mを整備した。平成17年度から実施した舗装工事は、起点からL=1819.6m(うち交付金事業による施工分1,578.2m、自力施工分241.4m)が舗装済みとなった。この区間は数カ所に谷があり集水型地形であることから、降雨時には度々路面が洗掘され補修を余儀なくされていたが、舗装したことによって排水効果が上がった。また、路面状態が改良されことにより、通行の安全性も高まり利便性が向上した。本事業を広報し住民に周知することにより、発電施設及び発電事業への理解が深められた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	道路整備	指名競争入札	株式会社昌栄建設	2,637,360(総事業費)
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
高知市鏡坂口地区における森林管理、高冷地野菜栽培ハウスからの農産物の出荷に支障をきたしていることから、本路線の整備を求められてきた。これまでの事業実施により、起点から高冷地野菜栽培ハウスまでを整備できているが、残りの未舗装箇所でも降雨のたびに路面が洗掘され、安全で円滑な車の通行ができなくなり、森林管理に支障をきたしていることから、来年度以降も本事業を活用し、平成27年度舗装終点から舗装を延伸し、平成33年度の完成を目指す。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特になし			